

意見交換会の主な意見（北小校区）

No.	分類	内容	回答
1	ごみ減量について	ごみ袋を値上げしないとごみ減量ができないのか。	長久手市では、これまでプラスチック製容器包装の分別収集などごみ減量に努めてまいりましたが、十分なごみ減量が進んでいるとは言えない現状です。そこで、ごみ減量と資源化推進のための施策として、県内の自治体でも進んでいるもえるごみ袋の値上げに至りました。
2	ごみ減量について	既に分別をきちんと行っている市民は、資源の分別を徹底してもごみの減量につながらないと思う。	いつも分別にご協力いただきありがとうございます。市が行っているごみの組成調査では、ごみの中に含まれる資源の割合を調査していますが、もえるごみ袋の中には34.3%もの資源がごみとして排出されていることから、しっかりと分別していただくことでごみ減量につながると考えています。
3	ごみ減量について	もえるごみを減量するのに、今からでも家庭でできることはあるか。	生ごみのほとんどは水分であるため、ごみとして出す前に一搾りしていただくと減量できます。また、プラスチック製容器包装や雑がみなどもえるごみに混入されやすい資源を分別すること、さらに生ごみ処理機を使用することでごみを減量することができます。
4	ごみ減量について	事業系ごみを減らす施策は考えているか。	家庭ごみと並行して実施することを考えています。今年度は、事業系ごみに関しても組成調査を実施し、まずは実態を把握した後、具体的に施策内容を検討してまいります。
5	ごみ減量について	ごみ袋を増額して、今より15%のごみを減量したら、どのようなメリットがあるのか。	組成調査の結果によると、平均的なごみ袋（約3kg）の中には、重量比で約44%の生ごみと約34%の資源が混ざっていました。生ごみは、80%は水分なので、水切りのひと絞りで約2割の減量をすることができます。資源については、しっかりと分別していただくことで減量に繋がると考えています。各家庭のごみの減量が進むと、今の袋よりサイズダウンすることができます。また、収集する際に持ち運ぶ負担が減ったり、晴丘センターへ搬入するまでに収集できる量が増えるため、収集時間も現在より早く収集できるメリットがあります。
6	ごみ減量について	人口が増えているため、ごみが増えるのは当然ではないか。	確かに人口の増加に伴いごみの総量も増加していますが、合わせて1人1日当たりのごみの量も増加しているため、人口を考慮しても増加傾向となっています。
7	ごみの減量について	値上げの目的は、ごみ処理施設の建て替えに充てることも考えているのではないか。	今回の増額の主目的は、ごみの減量です。確かにごみが多ければ、処理施設の負担が増え老朽化が進み、補修工事に多くの費用が掛かってしまいます。ごみを減量できれば施設の延命化に繋がりますが、今後施設の建て替えを行うことはいずれにしても必要なことです。現在も施設の建て替えのために、指定袋の手数料ではなく税金で費用の積み立てを行っていることから、もえるごみ袋を値上げしたことで発生した増収分を施設の建て替えの費用に充てることは考えておらず、ごみ・資源の回収に係る施策に充てたいと考えています。

意見交換会の主な意見（北小校区）

No.	分類	内容	回答
8	ごみの減量について	ごみ袋増額の本来の目的は何か。	ごみ袋増額の本来の目的ですが、市民の皆様分別意識、ごみに対する意識を変えていただき、ごみを減量することです。そのためプラスチック製容器包装（資源）の指定袋の値段は変更なしとさせていただき、もえるごみ袋のみの値上げを考えています。もえるごみ袋のみを値上げすることで、現在もえるごみ袋の中に約30%混入している資源を分別する意識を高め、さらにはごみ自体も減量していただきたいと考えています。
9	ごみの減量について	ごみ袋に名前を書くようにすれば、責任感が高まり減量に繋がるのではないかと。	実際に記名を採用している自治体があり、ごみ出しは自己責任という意識が高まることから効果があると聞いていますが、個人情報保護の観点から長久手市での実施は難しいと考えています。
10	ごみの減量について	分別ができていない年代や地域に傾向があるのであれば、ターゲットを絞り指導できないか。	現在もごみ出しマナーが良くないごみが発生する地域に関しては、日頃からパトロールや表示、本人への通知など行っていますが、今後も良い方法を模索し実施していきたいと考えています。
11	ごみの減量について	長久手市は県内で見るとごみの成績は悪いのか。	長久手市は現在1人1日あたりのごみの量で見ると県内の成績は悪くありません。しかし、減少傾向にあった1人1日あたりのごみの量が増加傾向に転じ、目標としている量とは大きくかけ離れてしまっているため、ごみを減らしていく必要があります。
12	ごみの減量について	1枚50円にして減量効果があった市町は分別意識が高まり減量に成功したのか。	実際にごみ袋の値上げを実施した市町を訪問し、担当者に直接実態の聞き取りを行いました。もえるごみの量が減り、資源の量が増えているため、分別意識やごみの減量意識が高まったと言えます。
13	ごみの減量について	マンションでできる生ごみの減量方法はあるか。	生ごみの8割は水分です。ひと絞りでも水きりを行っていただくことで、約2割の減量が期待できます。水きりの方法は長久手市ホームページの環境課のページでYouTubeによる紹介をしています。また、生ごみを乾燥させる生ごみ処理機に関しては、助成金（予算が残高がある場合に限り）がありますので、購入の際はご利用ください。
14	増額の値段設定について	有料化した市町は、0円から1枚50円になったのか。	説明資料で例として挙げさせていただいた、直近10年間でごみ処理を有料化した市町は0円から1枚50円になったわけではありません。指定ごみ袋制を従来から採用しており、価格は市場価格（10枚120円～160円程度）と長久手市とほぼ同条件になります。有料化によって条例で定められ長久手市と同様、金額が固定となったため、価格の上がり幅についても本市と同程度です。
15	増額による負担増について	もえるごみ袋の増額により、袋の値段が倍以上になり市民への負担が大きくなるがどのように考えているか。	これまでは、ごみ袋の価格が比較的安価だったため、ごみ量の多い人も少ない人も負担の大きさを実感することはありませんでしたが、増額することで、ごみを多く出す人の負担が大きくなり、ごみ減量に努力した人の負担は小さくなり、負担の公平性が図られます。また増収分でごみ収集サービスの拡充に充てることのできるため、市民へ還元できると考えています。

意見交換会の主な意見（北小校区）

No.	分類	内容	回答
16	段階的な引き上げについて	もえるごみ袋の料金について、いきなり上げるのではなく段階的に上げられないのか。	ごみの抑制効果が薄れることから、段階的な引き上げは考えていません。
17	手数料収入の用途	増額による収入は、何に使う予定なのか。	値上げによる増収分から、資源の回収頻度の増加や、ごみ収集車両の増台などごみ収集サービスの拡充に充てる予定です。
18	旧ごみ袋について	現在の指定ごみ袋は増額後も使用できるのか。	現在の指定ごみ袋（白色）は、増額後は使用できなくなりますので計画的にご購入ください。
19	旧ごみ袋について	増額後に、現在の指定ごみ袋（白色）が残ってしまったらどうすればいいのか。	増額後に残ってしまった現在の指定ごみ袋については、一定の交換期間を設け、新しい袋への交換を行います。交換対象は、未使用品に限ります。新旧で販売金額が異なりますので、例えば旧ごみ袋10枚に対して新ごみ袋3枚の交換を検討しています。交換期間等詳細については、改めて市広報等でお知らせします。
20	旧ごみ袋について	増額すると聞いて、ごみ袋の買いためが起きるのではないのか。	現在のごみ袋は増額後は使用できなくなります。増額に伴い、新しいごみ袋を作成しますが、新旧の区別がわかりやすいよう、現在の白色から色を変更する予定です。
21	ごみ袋の仕様について	もえるごみ袋が裂けやすく困っている。他の市町村よりも材質が悪いのではないのか。裂けにくい丈夫な材質に変えてほしい。	ごみ袋の種類は大きく分けて2種類あり、伸びやすいタイプのも（低密度ポリエチレン）と伸びにくいタイプのも（高密度ポリエチレン）があります。伸びやすいタイプのもは重量のあるものだと伸びて持ち手部分がちぎれてしまう恐れがあります。伸びにくいタイプのもは重量のあるものでも耐えられますが、紙の角などで裂けやすいです。双方にメリット・デメリットがありますが、現在のところ、レジ袋に代表されるように耐久性が高いため、伸びにくいタイプ（高密度ポリエチレン）のもので作っています。今後、市民のご意見も聞きながら、見直しについては検討していきたいと考えています。
22	ごみ袋の仕様について	Sサイズのプラスチック製容器包装が欲しい。もえるごみ袋を増額するだけでなく、分別を徹底するために、プラスチック製容器包装の袋を減額するのは施策はどうか。	プラスチック製容器包装のSサイズは、市民の皆さんの要望が多いため、検討していきます。手数料については、市場価格と相応しており減額する予定はありません。
23	資源化について	プラスチック製容器包装に付着しているシール・汚れ・においなど、取り切れない部分はどうしたら良いか。	プラスチック製容器包装に付着しているシール、汚れやにおいなどの取り切れないものについては、少々残っていてもリサイクルに支障はありません。汚れやにおいは水で軽くすすいでいただき、そのままプラスチック製容器包装として出してください。

意見交換会の主な意見（北小校区）

No.	分類	内容	回答
24	ごみの減量が困難なものについて	減量が困難で生活必需品の紙おむつの扱いは、どうなるのか。	ごみ袋の増額は、令和4年6月議会で条例改正議案を上程する予定です。それまでには、意見交換会を踏まえ、福祉部局と連携しながら、紙おむつの扱いの方向性を決定する予定です。
25	ごみの減量が困難なものについて	減量が難しい刈草・剪定枝の扱いはどうなるのか。	ごみ袋の増額は、令和4年6月議会で条例改正議案を上程する予定です。それまでには意見交換会を踏まえ、剪定枝の扱いの方向性を決定する予定です。
26	不法投棄について	増額すると不法投棄が増えるのではないのか。	先行してもえるごみ袋を値上げした知多地域の自治体を訪問し聞き取りをしましたが、値上げが原因で不法投棄は増えていません。本市としては、現在も実施しているごみ集積所のパトロールを引き続き行っていきます。
27	不法投棄について	これまで不法投棄されているごみは拾って、自身で購入したごみ袋に入れて出していたが、今後お金を払ってまでごみを拾う気持ちになれなくなる。	不法投棄を拾った場合、環境課窓口で無料でお渡ししている地域清掃ごみ袋を使用して、ごみを出して下さい。
28	野焼きについて	ごみ袋の値段が上がると、野焼きが増えるのではないのか？	法律で禁止されている野焼きについては、関係機関と協力して、情報の共有と迅速な対応を行ってまいります。
29	広報の方法について	ごみ減量に関する広報が弱いのではないのか。	広報の方法については、市としても課題であると考えています。広報紙・ホームページの他にさんあ〜る（ごみ出し支援アプリ）での啓発や、ごみ出し方法を記載したガイドブックを全戸配布、各地域へ出前講座に伺うなど複数の方法で広報していますが、今後もより多くの方に伝える方法を検討していきます。
30	他市町村の状況について	瀬戸市もごみ袋の値段を上げると聞いたが、尾張旭市も足並みを揃えないのか。	今回の増額ですが、瀬戸市や尾張旭市とも情報共有しています。しかし、ごみ袋の値段は各市が独自で設定するため他市には関与できないのが実状です。尾張旭市については、平成30年にごみの有料化について検討を行っていますが、当時1人1日あたりのごみの量が減少傾向にあり目標値を達成していること、他の施策でごみ減量に取り組んで行くことから現時点では有料化を実施しないという方針です。